

2022 年 6 月 29 日 京葉ガス株式会社

原料費調整制度に基づく2022年8月検針分のガス料金について

京葉ガス株式会社は、原料費調整制度に基づき、2022 年 8 月検針分の単位料金を、2022 年 7 月検針分に比べ、1 m³(45MJ/m³)につき+2.50 円(税込)調整いたします。

今回の調整は、2022年3~5月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、当社における標準的なご家庭(1カ月に30 m²ご使用)のガス料金は、2022年7月検針分と比較して月額75円(税込)値上がりし、6,263円(税込)となります。

1. 一般料金プラン料金表

各月のご使用量に応じて A~D の各料金が適用されます。

(税込)

料金表	1 カ月のご使用量	基本料金(円/月)	2022 年 8 月検針分 の単位料金(円/m ²)	(参考) 2022 年 7 月検針分 の単位料金(円/㎡)
А	0 ㎡から 20 ㎡まで	815.10	187.54	185.04
В	20 ㎡をこえ 100 ㎡まで	1,171.50	169.72	167.22
С	100 ㎡をこえ 350 ㎡まで	1,986.60	161.57	159.07
D	350 ㎡をこえる場合	6,609.90	148.36	145.86

^{□1} カ月の料金 = 基本料金 + (単位料金×使用量)

2. 標準家庭における影響

「口座振替割引」適用の場合、下記料金より55円(税込)割引となります。

(税込)

1カ月のご使用量	2022 年 8 月検針分の料金	2022 年 7 月検針分の料金	増減
30 ㎡(45MJ/㎡)	6,263 円	6,188 円	+75 円

[□]標準家庭における 1 カ月のご使用量(30 m³)は、家庭用の平均値です。

3. 適用する平均原料価格・原料価格変動額

		2022年8月検針分	2022年7月検針分
平均原料価格		79,500 円/トン	76,640 円/トン
(内訳)	LNG	96,850 円/ ト>	93,910 円/トン
	LPG	106,780 円/ トン	98,180 円/トン
原料価格変動額 (100 円未満切り捨て)		19,900 円/トン	17,100 円/~

[□]LNG 価格、LPG 価格はともに貿易統計値(2022 年 3~5 月平均)です。

4. 単位料金の算定方法

(1)平均原料価格の算定

平均原料価格は、LNG と LPG の各平均原料価格に係数を乗じて算定します。



□算定結果の10円未満は四捨五入し10円単位とします。

(2)原料価格変動額の算定

平均原料価格と基準平均原料価格との差額(原料価格変動額)を算定します。



※1 2015 年 2~4 月の平均原料価格

□算定結果の 100 円未満は端数を切り捨て 100 円単位とします。

(3)単位料金調整額の算定

原料価格変動額を次の算式にあてはめ、単位料金調整額を算定します。 (原料価格変動額 100 円ごとに、単位料金を 0.081 円/㎡の割合で増減)

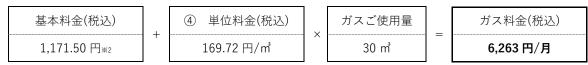


□算定結果がプラス調整時は小数点第3位以下を切り捨て、マイナス調整時は小数点第3位以下を切り上げます。

(4)単位料金の算定(一般料金プラン 料金表Bの場合)



【標準家庭の計算方法(一般料金プランで1カ月のガスご使用量が30m3の場合)】



※2 一般料金プラン 料金表 B の基本料金 □本体料金は小数点以下を切り捨てます。

≪参考≫ 原料費調整制度の概要

都市ガスの原料である LNG(液化天然ガス)および LPG(液化石油ガス)の価格変動を、毎月のガス料金に適切に反映させる制度です。 京葉ガスでは都市ガスの原料として LNG、LPG および千葉県産天然ガスを使用しています。

このうち LNG と LPG の価格は、為替レートや原油価格の動きにより常に変動しています。

基本的な 仕組み

- ・基準平均原料価格と平均原料価格の差額(原料価格変動額)により、毎月ガス1㎡あたりの単位料金を調整します。
- ・平均原料価格は適用月の3~5カ月前まで(中2カ月)の3カ月平均です。
- ・基本料金の変更はありません。